

ことばあそびをたのしもう！



ゆめっこだより

2月

2014/2/3 桜小学校



立春・・・冬から春へ

立春、こよみの上では春を迎えます。一年中で一番寒いころですが、「春の気立つ」といって、すぐそこに春の来ていることを表しているのです。みなさんも五感で春を感じとってみてください。

立春の前日を節分といいます。「季節を分ける」という意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日をいいましたが、今では特に立春の前日をいいます。

昔のこよみでは、立春は新しい年のはじまりの日で、節分の日がおおみそかにあたりました。おおみそかには、わるいことを「鬼」として豆で追い払う「ついな」という行事があり、ここから、新しいこよみになっても節分に豆をまく行事が残ったようです。

豆まき…豆には魔よけの力があるといわれ、鬼を追い払うのに使われます。炒った大豆をますに入れ、神様にそなえてから、「鬼は外、福は内」といって家の中や出入り口にまきます。

やいかがし…ひいらぎや大豆の枝に、いわしの頭をあぶってさしたものです。鬼はとがっている葉やくさい臭いをきらうので、戸口に飾って追い払います。

節分のことを知りたいときは・・・

- 031：ト「みぢかなぎもん図鑑」
- 384：カ「ものしり事典 365 日」
- 386：イ「日本の行事としきたり」
- 386：コ「子ども歳時記 12 か月」
- 386：タ「季節の図鑑」

E：サ「せつぶんだ まめまきだ」



2月28日(金)までで今年度の貸し出しは終わります。
3月3日(月)4日(火)に本を返すようにしてください。

風が吹くと

風が吹くとおけ屋がもうかる

風が吹くと 洗たくものが飛ぶ

洗たくものが飛ぶと 鳥が驚く

鳥が驚くと 空の雲が笑う

空の雲が笑うと 雷様が目をさます

雷様が目をさますと いなずまが走る

いなずまが走ると 停電になる

停電になると ローソクをともし

ローソクをともしと 影絵あそびができる

川崎 洋少年詩集

「しかられた神様」より



今月の読書マラソン認定者

本のしょうかい

913：ス 「小さな町の風景」 杉 みき子作

町のいろいろな風景のとても短いお話の数々です。

短いだけれど想像は深く広く広がって、不思議な世界へいざなわれるのです。どこにでもあり、どこにもない、坂、商店、塔、木、電柱、鳥、橋、海、の風景。

杉みき子さんの文章のうまさに感心し、佐藤忠良さんの絵になつかしさを感じながら。お家の方もどうぞ。

E：ハ「やまださんちのてんきよほう」長谷川 義史作

やまださんちの一日のできごとがお天気になぞらえて長谷川さんの表情豊かな絵でかかれています。

「きょうのやまださんちは はれ」

「きがつけば こうずい」 はて「こうずい」とは？

絵を見ればすぐにわかりますよ。思わず笑ってしまう、文句なくおもしろい、こんな絵本をみて頭をからっぽにして笑うことも大切ですね。



今月の図書館博士